

「世界のMunakata」を目に刻む、
特別な65日間。

企画展

棟方志功

展



《龍樹》1949(昭和24)年 個人蔵

2021

前期 9.18(土) → 10.24(日)

後期 10.29(金) → 12.5(日)

無料入館日 9月18日(土)、10月10日(日)、10月29日(金)、10月30日(土)、10月31日(日)、11月3日(水・祝)

一関市博物館

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

棟方志功

2021
前期 9.18(土) → 10.24(日)
後期 10.29(金) → 12.5(日)

会期中「一関のあゆみ」「龍草刀と刀剣(一部)」の展示はご覧になれません。

関連行事

【講演会】無料入館日

「棟方志功・東北への想い」

10月10日(日) 13:30~15:10

講師 石井頼子氏
(棟方志功研究家・棟方志功令孫)

定員 50名

参加料無料

(要申込、9月1日(水)から電話にて受付開始)

スペシャル

ギャラリートーク 無料入館日

10月10日(日) 15:30~16:00

講師 石井頼子氏
(棟方志功研究家・棟方志功令孫)

参加料無料

(申込不要、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。)

耳で味わう棟方志功 無料入館日

11月3日(水・祝) 16:30~18:10

閉会後も19:00まで企画展をお楽しみください

第1部

「講談で味わう棟方志功」

「地産地消」講師 地伏亭金目氏

第2部

「音楽と朗読で味わう棟方志功」

よまえまカルテットのみなさん

フリーアナウンサー 河合純子氏

定員 50名

参加料無料

(要申込、9月1日(水)から電話にて受付開始)

夜間開館／無料入館日

博物館正面ライトアップ

11月3日(水・祝) 日没頃~19:00

ギャラリートーク

各40分程度、ただし状況により人数制限や短縮の可能性があります。

9月26日(日) 11:00~、14:00~

10月31日(日) 15:10~

11月 3日(水・祝) 18:20~

11月 6日(土) 11:00~、14:00~

その他関連行事

要電話申込、「美術館ツアー」は9月1日(水)から受付開始

館長講座③

「東北風・善知鳥・恐山」

「棟方志功の歴史風土」

10月31日(日) 13:30~15:00

定員 50名

美術館ツアー

11月13日(土)

博物館でアートを楽しむ

版画を楽しもう

~棟方志功展にちなんで~

11月20日(土) 午前の部 9:00~12:00

午後の部 13:00~16:00

定員 小学4年生以上、各回15名

参加料 300円



6



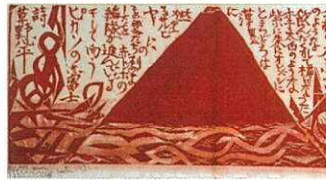
7



8



10



12

棟方志功(1903~1975年)は、二十世紀を代表する芸術家のひとりです。青森で生まれ、絵かきにならんとする強い決意のもとに上京、やがて独自の作風を確立するに至った彼の版画『二菩薩釈迦十大弟子』は、1955(昭和30)年にサンパウロ、翌年にはヴェニス・のビエンナーレでグランプリを受賞し、「世界のMunakata」と呼ばれるようになりました。その旺盛な制作は晩年まで続き、72歳で生涯を閉じるまでの約50年間に、1万点以上の作品を残したとされます。オリジナリティにあふれ、生命感と躍動感のみならず、棟方作品は、今も人々を魅了して止みません。

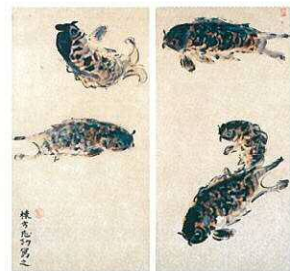
振興に貢献した菅原清蔵(1903~1980年)が棟方から贈られた作品が当館に寄託されたことを契機として開催するものです。菅原は柳宗悦らの提唱した民藝運動に共鳴してその活動に積極的に参加し、自らも収集をすすめて、柳を囲む多くの人々とも交流を持ちました。その一人が棟方志功でした。棟方は菅原への便りで、平泉の中尊寺を詣でた喜びを語り、また一関を襲った水害に心を痛め、菅原の暮らす一関地方へ思いを寄せたことがうかがわれます。二人は民藝運動の作家とその理解者として、心を許しあう関係を築いていたのではないのでしょうか。会期を2期に分けて大幅な作品の入れ替えを行う本展にて、棟方芸術を堪能していただければ幸いです。



1



2



4



5

1《蓮華の輪》(大和し美より) 1936(昭和11年) 青森県立美術館【前期展示】 2《高松那》(二菩薩釈迦十大弟子より) 1939(昭和14)年板/1970(昭和45)年摺 宮城県美術館 3《目録連》(二菩薩釈迦十大弟子より) 1939(昭和14)年板/1970(昭和45)年摺 宮城県美術館 4《群體図》1940(昭和15)年頃 青森県立美術館【後期展示】 5《二菩薩仰觀の輪》(雨ニモ負ケズ板面画より) 1944(昭和19)年 棟方志功記念館 6《天女飛舞の図》1955(昭和30)年頃 龍泉院【前期展示】 7《医王山村》1948(昭和23)年 個人蔵 8《墨牛臥々》昭和20年代 個人蔵 9《天長地廣》昭和20年代 個人蔵 10《コスモス自画像》1959(昭和34)年 青森県立美術館【前期展示】 11《太陽花 黄図》(太陽花シリーズより) 1972(昭和47)年 棟方志功記念館 12《赤富士の輪》1965(昭和40)年 青森県立美術館【後期展示】

一関市博物館

ICHINOSEKI CITY MUSEUM

〒021-0101 岩手県一関市厳美町字沖野々215番地1

TEL 0191-29-3180 FAX 0191-33-4006

<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>



開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 毎週月曜日(祝日・休日の時は翌日、10月26日(火)~28日(木))

無料入館日 9月18日(土)、10月10日(日)、10月29日(金)、10月30日(土)、10月31日(日)、11月3日(水・祝)

入館料 一般300円(240円)、高校生・大学生200円(160円)、中学生以下無料 ※()内は団体(20名以上)割引料金

※次の方々の入館料は免除となります ①障がい者・介護者の方(障がい者手帳などを提示願います) ②65歳以上の一関市民の方(年齢・住所が証明できるものを提示願います)

共通入場券 1年間有効1,000円/10日間有効500円

※有効期限内に限り、何處でも対象施設に入館可能(一関市博物館、芦東山記念館、石と賢治のミュージアム、大龍キリシタン殉教公園)

交通案内

[自動車] 一関ICより西へ約7分(5km)、一関駅より西へ17分(9km) [路線バス] 一関駅前9番乗り場厳美方面行約20分(厳美バス停下車徒歩7分)

新型コロナウイルス感染症への対応等により、変更となる可能性があります。最新の情報は、当館ホームページまたはお電話にてご確認ください。

